

# WHHLMIウサギ

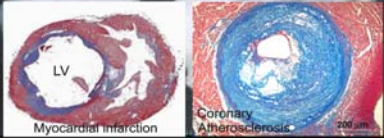
神戸大学医学部附属動物実験施設 塩見 雅志

〒650-0017 神戸市中央区楠町7-5-1

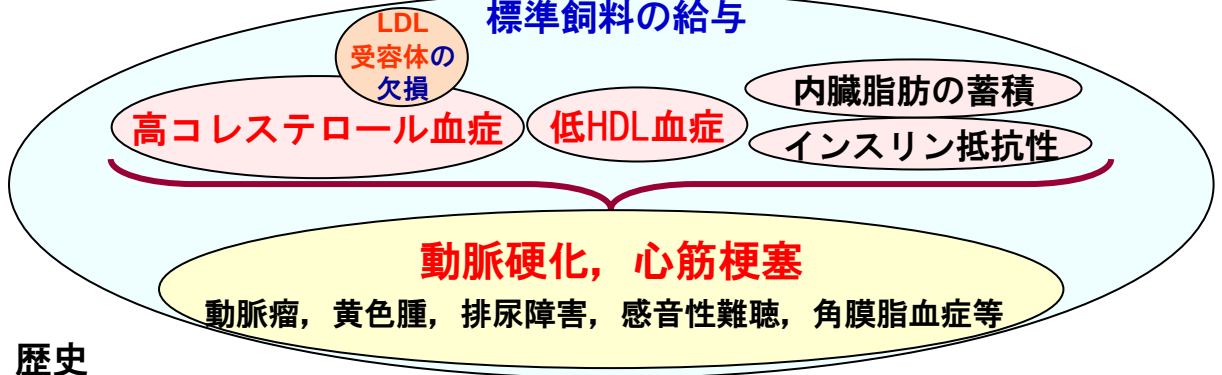
Tel: 078-382-5660 Fax: 078-382-5679

E-mail: ieakusm@med.kobe-u.ac.jp

URL: <http://www.med.kobe-u.ac.jp/iea/index.html>



## 1. WHHLMIウサギの特性



## 2. 歴史

1973年: 高脂血症を示す突然変異ウサギを発見 (当施設の渡辺嘉雄前教授)

1980年: 系統として確立し, WHHLウサギと命名, 国内外に分与を開始 (渡辺嘉雄前教授)

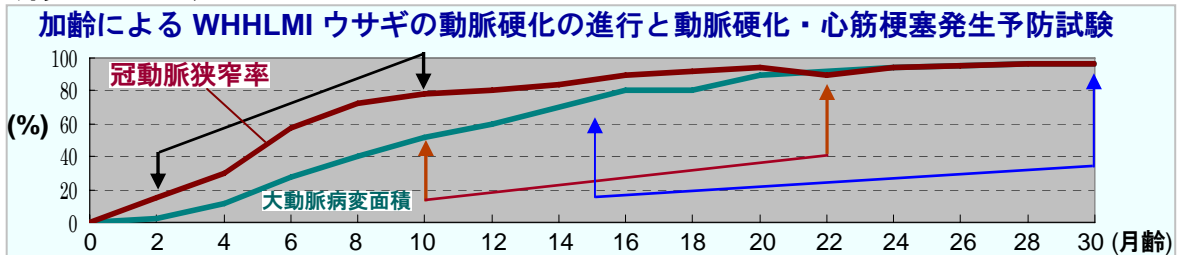
1985年: ノーベル賞受賞研究 (Goldstein & Brown) に大きく貢献

2000年: WHHLウサギから心筋梗塞を自然発症するWHHLMIウサギを開発 (塩見雅志助教授)

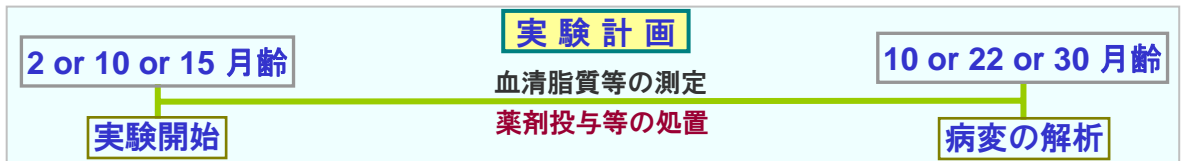
## 3. ヒトの脂質代謝や動脈硬化の病態との種差

マウス・ラット	大 (遺伝子を改変してもヒトとの種差は大)
WHHLMIウサギ	小 (極めてヒトに類似)

## 4. 研究への応用



WHHLMIウサギは, 2月齢から治療を開始する **動脈硬化発生予防試験** (↓-↓),  
 10月齢から治療を開始する **動脈硬化病変安定化試験** (↑-↑),  
 15月齢から治療を開始する **心筋梗塞発生予防試験** (↑-↑) に使用できる。



## 5. 研究の適用分野

病態と発生機序等に関する研究	高コレステロール血症	低HDL血症	メタボリックシンドローム	
	動脈硬化	心筋梗塞	黄色腫	排尿障害
治療法, 診断法等に関する研究	上記疾患の治療薬の開発		動脈硬化画像診断薬, 診断機器の開発	
	遺伝子治療	再生医療への応用		